

製造業



生産性向上と環境負荷低減を両立する取り組み



変種変量の生産体制の確立により 柔軟性のある加工領域を実行し環境負荷を低減

背景・課題

人材不足と将来的に発生する協力会社の高齢化によるサプライチェーンの毀損が見込められる中、いずれ内製化を進めなければならなくなります。人材に頼れば現状不安要素があり今後の受注にも不安感があります。そこで人に頼らない半自動化を考え協働ロボットの導入を検討し、工場の見える化を実現し安定受注に繋げることを目指しました。

創意工夫した点・得られた成果・今後の展開

EMS、IoTの連携により工場の見える化が実現しました。結果、作業の簡素化・省力化・自動化が進み不良品が発生しない生産体制を構築。これにより生産性が大幅に向上し大手取引先への納入点数も1日300点から600点を超えるまで増加しました。仕事量の増加にも関わらず、創意工夫により残業時間を削減し社員の昇給と待遇改善が進みました。今後は協働ロボットの導入など急速な技に対応していきます。



有限会社志村プレス工業所

代表取締役 志村 正廣

本社 愛知県小牧市大字三ツ淵407-1

